

# 猫パルボウイルス感染症の流行について

動物愛護ボランティアの皆様には、日頃から動物愛護の普及にご協力いただきありがとうございます。

さて、保健所では猫を飼い主等から引取る場合、内部感染を防ぐ目的から、猫パルボウイルスの糞便検査を行っています。7月下旬から現在までに引取った複数地域（稲葉、下駒沢、青木島、川合新田）の猫において、当該ウイルス感染が認められています。

猫パルボウイルス感染症は、非常に感染力が強く、免疫を持たない子猫が感染すると死亡率の高い恐ろしい感染症です。皆様におかれましては、猫の保護を行う場合、相互感染に十分注意されますようお願いいたします。

## ☆ 飼育猫にワクチンを接種しましょう

猫パルボウイルス感染症は、ワクチンで予防が出来ますので、子猫にワクチンを接種しましょう。ただし、接種してから2週間程度経過しないと免疫が得られませんので、接種後の感染にも十分注意してください。健康チェックが完了するまで、他の猫と一緒にしないよう注意してください。

## ☆ 手洗い等の徹底を行いましょう。

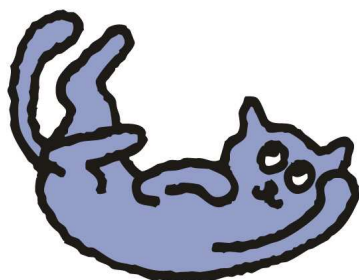
特に健康管理が行われていない外猫と触れ合った後は、手洗い等を徹底して他の猫に感染を広げないように注意しましょう。子猫を一時保護したケージなどは、感染を防止するために、洗浄・消毒を行いましょう。なお、消毒剤は塩素系消毒液が効果的です。塩素臭は猫が嫌いますので、適正な濃度で消毒し、消毒後は十分乾燥してから使用してください。

### 猫パルボウイルス感染症について

猫汎白血球減少症とも言われ、骨髄や腸粘膜細胞などの分裂が盛んな細胞に感染し、主に感染した猫の便に排泄され、他の猫に感染します。

感染してから数日の潜伏期間を経て発症しますが、感染力が非常に強く、下痢や嘔吐などの症状を示すことなく急激に衰弱して死亡することもあります。

人には感染しませんが、人の手指や衣服などを通して感染が広がる場合があります。



長野市保健所食品生活衛生課

電話 026-226-9970